

応募者氏名：錢 琨（せん こん）・光藤宏行（みつどう ひろゆき）

応募者所属：九州大学

応募代表者メール：kkcs2000[atmark]icloud.com（錢琨）

作品タイトル：

格子による圧縮変形錯視

解説：

黒い背景における灰色の格子に配置された白い円は、圧縮変形して知覚されるという新しい種類の錯視を報告する（作品1）。作品1の白い円は実際には正円であるが、図1の模式図で表されるように楕円に見える。

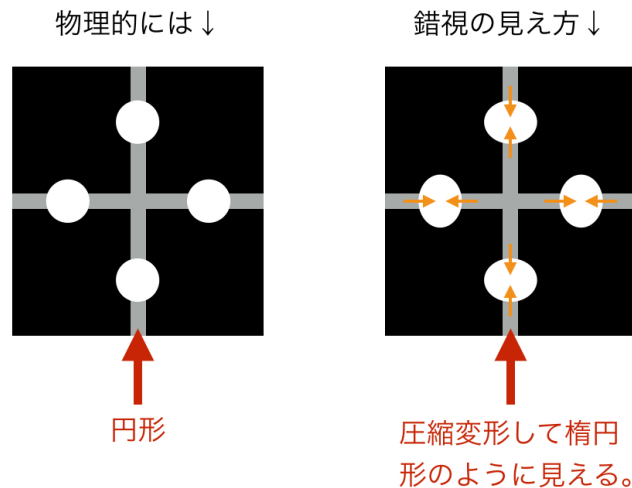


図1. 格子による圧縮変形錯視の見え方

応募者の研究によると、本錯視は、きらめき格子錯視（格子の交差点に置かれた白い円が明滅して知覚される錯視）と幾つかの共通点がある。きらめき格子錯視の強度に影響を及ぼす背景・格子・パッチ間の輝度コントラストや大きさは、本錯視でも同様の影響がある。さらに、周辺視野で生じやすいことや、ひし形のパッチにも起こること（作品2）も共通しているように思われる。これらの点は、両錯視を生み出すメカニズムがある程度共通していることを示唆する。

なお、本錯視は他にも幾つかの錯視現象に関係すると考えている。例えば、短時間呈示における Shape-contrast 効果、輝度コントラストによる大きさの錯視、空間情報が増えることによって拡張する Oppel-Kundt 錯視である。これらの錯視現象との関連性は今後実験によって検討する必要がある。